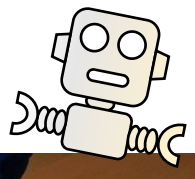
会　報　ゆうほどう

平成29年3月号

【介護ロボット導入】



❶ 労働環境改善

「2025年問題」がクローズアップされています。
団塊の世代が75歳以上になる約10年後のお話です。
その時代は少子化がさらに進み、全国的に介護従事者の確保が困難になると予想されています。

❷ 腰痛リスク軽減

当園の介護職員の平均年齢は40.8歳です。現職員が働き続けることを前提にして10年後も50.8歳で、深刻な問題にならないと考える一方、介護職員は職業病として、多くの方が腰痛に悩んでいます。それが理由で離職に繋がらないかが心配されます。

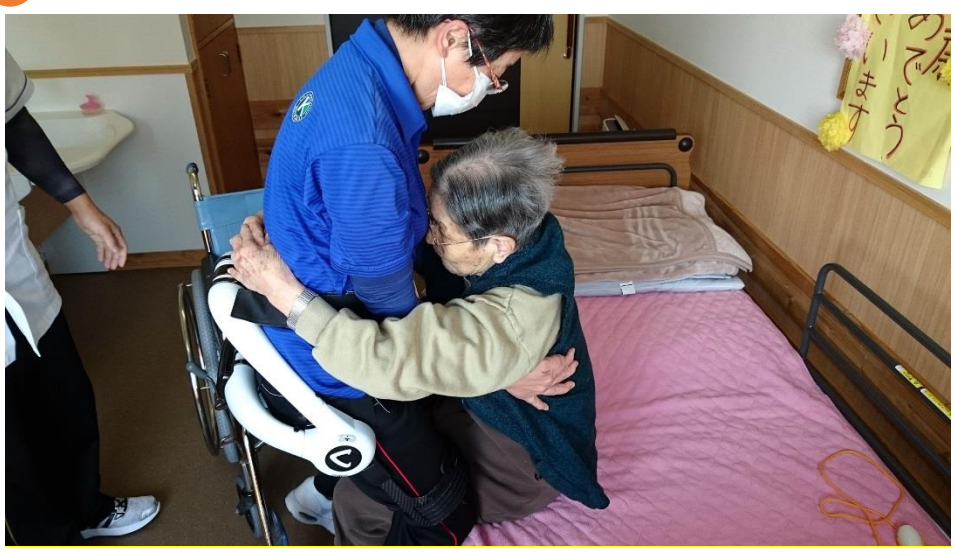
❸ 防水タイプ

そこで、平成29年1月に、腰痛予防対策の一助として国の補助を受け、日南市では初めて、軽量タイプの介護ロボット「ハル」を導入しました。
介護で一番重労働感のある入浴介助に使用して腰の疲労度合をモニターしています。そんな折、早速、宮崎県からも効果について問合せがあり、注目の高さが伺えます。

❹ 生体電位信号

人が体を動かすときに脳から筋肉へ送られる信号、**「生体電位信号」**を読みとって介護ロボットはその信号の通りに動きます。つまり介護者の脳が考えたとおりに、介護ロボットは介護者の動きをサポートし、これまで通りの介護を楽に行えます。

❺ 不安？手ごたえ？



★60代　腰痛のある女性介護職員の感想
最初は介護ロボットに対して「自分に合っているか？」の拒否反応が自然に出ました。
2回目以降、「ハル」を装着して入浴時の移乗介助の際、「まだ操作に手間取る。」「いつもより腰が楽に感じた。」と不安と期待が入り混じったことでした。

★50代　腰痛のある男性介護職員の感想
初めて着けた時「高級なコルセットのよう」と思った。
「1時間以上の入浴介助を終えて、膝の負担も少ない」と感じた。「さすがに、その後、3～4時間着けっ放しだと疲労感を覚えたが、慣れの問題で腰の負担軽減になると思う。」

★40代　腰痛のある女性介護職員の感想
「足を引き上げてくれる感じがして歩きやすい。」

★30代　腰痛のない女性介護職員の感想
「何かに引っ張られるようで重い」「電源をOFFにすると力が抜けたようだった。」やっぱり軽いと思った。

★入居者様の反応
介護ロボットを見て「これは何じゃな？」
説明をすると「…ふん重いごつあるな」
値段を聞いて**びっくり顔**でした。

【全国大会発表】 平成29年1月　長崎開催

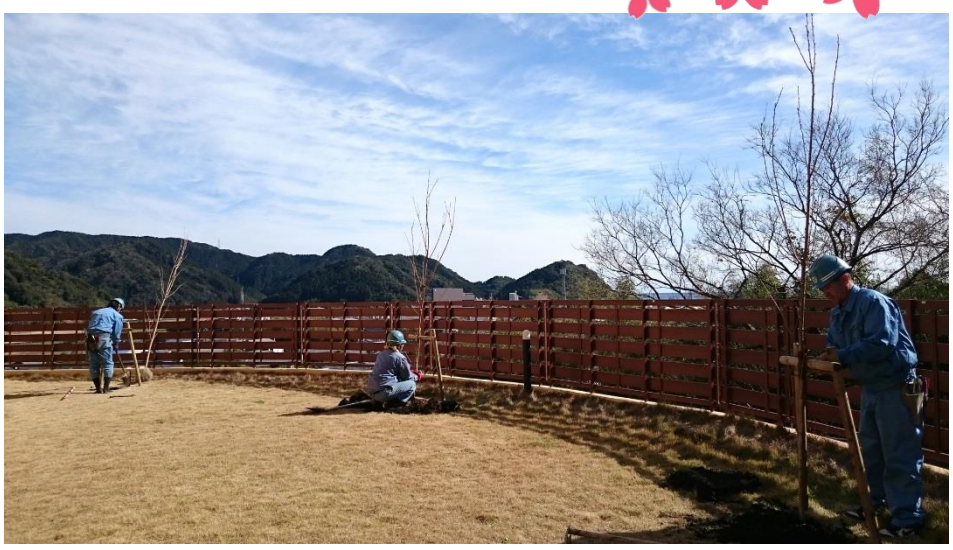
当法人内コンペを経て、介護業界で一番権威のある研究会議にて昭寿園は**「口腔ケアの実践」**、和幸園は**「認知症ケアの実践」**をテーマに事例報告を行いました。
北は北海道から南は沖縄まで、全国の施設職員2,197名が集い11の分科会場にて合計163事例の発表がありました。
宮崎県の施設は当法人のみで、応募できたことだけを見ても、職員を誇らしく思えたことでした。
特注すべきことに、和幸園は2回目にして「最優秀賞」の栄誉に輝きました。法人職員一同、**まさに歓喜のひと時**でした。

【ミニバレー大会】

福利厚生の一環として、ミニバレークラブ(週1回開催)に対し保険金等の助成を行い、法人内職員の健康増進と親睦を図っています。

今回、初めて日南市の社会福祉施設等連絡会主催にて、第1回ミニバレー大会が開催されました。当法人も日頃の活動の延長で3チーム参加しました。結果は22チーム中、**昭寿園Aが準優勝、和幸園が3位**となり大変盛り上がりました。

【待ちこがれし花見】



平成29年2月に当園の芝生の庭にサクラの苗を5本植樹しました。
20年後には「さぞかし・・・」と思いを寄せ。

一方、当園の玄関横には先人が植えた「ソメイヨシノ、八重桜」が数十本「まるで出番をまつかのように」つぼみを見せ始めました。

今年は、桜の木の周りに主役の桜が引き立つように
「リビングストーンデージー」等であしらいました。
入居者様と屋外食で花見と洒落込みたいと思うこの頃です。

【食事サービス】

【2月行事食の献立　8品】

●メニュー●

いなり寿司
茶碗蒸し
カニ爪フライ
牛肉の八幡巻き
五色ナマス
果物（いちご）
ショートケーキ
卵焼酎

ご　　案　　内

3月12日（日）日南市民まつり昭寿園コーナー出展
誕生会
3月16日（木）午前11：30
誕生会
4月20日（木）午前11：30